



- ①カルタで脳トレ(なんてんの実)
- ②値札貼り(旬菜館)
- ③園児と遊ぶ(第二保育園)
- ④箱作り(グリーンリーフ)
- ⑤製品の袋詰め(キャノン)
- ⑥シャンプーを教わる(美容室オレンジ)
- ⑦子牛に餌やり(吉野牧場)
- ⑧レジ打ち(JA 利根沼田)

昭和中学校の2年生63人が11月7日から10日までの4日間、村内外20力所の事業所で職場体験を行いました。

この職場体験は、働くことの意義や人とのかわり方、自分自身の進路など多くのことを考え、学ぶために行われているものです。また、地域を挙げて実施することで、地域の教育力を高めるものでもあります。

小売業や製造業、福祉施設など、生徒たちがそれぞれ選択した事業所で仕事に取り組みました。普段接することの少ない働く人たちとの交流を通して、仕事の楽しさや厳しさなどを学んでいました。

旬菜館で職場体験をした戸部魅紗希君は「働くことは大変だったけど、お客様のありがたうの言葉でがんばることができました」と4日間を振り返りました。

仕事を体験し、学ぶ





Close up

村の未来を考え、提案

中学生に、村政と議会に関心を持ってもらおうと、今年で18回目となる「中学生議会」が11月10日、新庁舎の議場で開催されました。

参加したのは、昭和中学校3年1組(外山大翔^{だいと}議長 27人と、同2組(松井虹介^{こうすけ}議長 27人の生徒たち。各組とも、村の将来を考えた施策について事前に検討を重ねてきました。

議長役の生徒の議事進行により、中学生の視点から感じた問題に対して質問や提案を堂々と行いました。

1組からは「食料・日用品のお店の誘致」や「統合小中学校の通学方法」、2組からは「子育て支援」や「農業に対する支援・取組」などが議題に上がりました。

堤村長は「皆さんの率直な意見を知り、今後の村づくりの参考にしたい」と述べました。

- ①挙手し発言を求める
- ②2組で議長を務めた松井虹介君
- ③⑤堂々と質問
- ④テレビモニターに議案を映しわかりやすく提案
- ⑥答弁を真剣に聞く中学生議員
- ⑦昭和村の未来について意見を述べる

